



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2012 - 2013 年度テーマ

R.I. テーマ 「奉仕を通じて 平和を」 R.I. 会長 田中 作次
地区ガバナー 石川 正一
クラブテーマ 「クラブライフの充実で、ロータリーの魅力を語ろう!」
クラブ会長 原田 毅

本日の卓話

「二番煎じ」

十一代目 金原亭馬生師匠

今後の卓話予定

4/3 「フリーターからロータリアンへ」 (株)エリエイ 代表取締役 平井憲太郎様
4/10 「炉辺会合報告」 各炉辺グループ代表者
4/17 「食肉のあれこれ」 (株)食肉通信社 専務取締役 加藤泰三様
4/24 「21世紀を担う ろう児、難聴児にわたしたちができること」
NPO 法人しゅわえもん役員・立教大学日本手話兼任講師 野崎静枝様



2013年3月27日

第1307回例会

会長 原田 毅
幹事 宮村 義男



4月結婚記念日

6日 (45周年) 笹生ご夫妻 ・ 21日 (45周年) 天笠ご夫妻
21日 (36周年) 浜中ご夫妻 ・ 25日 (31周年) 小林博ご夫妻
26日 (38周年) 海内ご夫妻 ・ 26日 (24周年) 小池ご夫妻
28日 (44周年) 植木ご夫妻 ・ 29日 (29周年) 上野ご夫妻

前回 (3/13 1306 回例会) の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 2名 気仙沼仕事創出プロジェクト委員長 東京ローターアクトクラブ 増田悠太郎 様
気仙沼仕事創出プロジェクト委員 東京荒川ローターアクトクラブ会長 杉山幸平 様
◆ビジター 2名 新入会員候補者 齋藤正人 様、東京浅草R.C. 新實 孝 様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
46名	2名	4名	39名	3名	92.86%	1304回例会修正 欠席3名・出席率92.68%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告 <原田会長>

・世界初、愛知県沖で海底メタンハイドレートから天然ガス採取成功
メタンハイドレートは、メタンと水が結合した水和物で「燃える氷」とも呼ばれる。日本近海には、日本が消費する天然ガスの100年分が埋蔵されている事が96年から試算されていたが、これで2018年度からの商

業化によいよ拍車が掛かる事となる。今まで、エネルギーの95%を海外からの輸入に頼って来た日本は、純国産資源の活用に向け一歩前進する事となった。これは大変な一歩であると同時に、日本が有する広大な領海の中の資源を開発して行けば、日本が逆に世界に向けて資源を輸出する『資源大国』になる事も可能になる事

を示唆している。

最近、日本国内と領海内に埋蔵された資源に関するニュースが目立っている。南鳥島沖の海底では日本の消費量の約230年分、推定埋蔵量約680万トンのレアアースを含む泥が大量に発見された。秋田県では新型石油として注目されるシェールオイルの試掘が開始された。報道による

と、最大で国内年間消費量の1割弱にあたる約1億バレルの石油生産も期待されるという。佐渡南西沖では、石油天然ガスの基礎調査も開始。埋蔵の可能性がある海域面積は135平方キロメートルで「大規模油田と同等」だとか。いつの日か、日本が無資源国から、資源大国に変貌する日が楽しみである。

幹事報告<宮村幹事>

・例会変更のお知らせが来ております。クラ

ブ事務所にてご確認下さい。

2012年~2013年度 第9回理事・役員会報告

<審議事項>

1. 2月度会計報告……………承認
2. 中間決算し予算と比較見直しをする。

<協議事項>

1. 会員増強名刺作成の件……………作成承認

<報告事項>

1. 3月19日六〇会「魚熊」にて開催。
2. 4月6日おもいやり亭花見の会は小田原

バスツアーを企画。

3. 5月22日夜間例会は浅草ビューホテルにて開催。卓話は和太鼓演奏。
4. 北分区4クラブ支援東京ドーム少年野球大会の紹介原田会長よりあり。
5. 本年度4月からの米山奨学生（マレーシアの芝浦工大生）のカウンセラーは岩田会員に願います。

委員会報告

<情報委員会 小林(雅)委員長>

・第2回炉辺会合の会場と日時が決定いたしました。全員の参加をよろしく願います。

<親睦活動委員会 高木委員長>

・4月6日開催の「小田原お花見バスツ

アー」に多数のご参加ありがとうございます。次回の例会にて参加費を徴集させていただきます。お席にまだ余裕がありますので、ご希望の方は親睦活動委員にお申しつけください。

ニコニコボックス

<原田会長、宮村幹事>

・増田さん、杉山さん。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

<関原、山尾、太田、藤掛、上野、斎藤、海内>

・増田悠太郎さん、杉山幸平さん。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

<天笠>

・小学校6年の孫息子が英語テスト3級に合格しました。私はまったくダメです。

<古谷>

・福島県浪江中学校の校長先生が来社され、支援に対して感謝状をいただきました。

<長沼>

・小池さん、先日はビューホテルさんに大変

お世話になりました。いつもロータリーメンバーに多大のご配慮頂きありがとうございます。

<浜中、太田、藤掛、上原、長島、中村>

・東日本大震災より2年。悲しみや苦難を乗り越え、絆新たに！ 私たちは応援します。頑張ろう東日本。立ち上がれ、日本！

<長島、天笠、藤田>

・メタンハイドレート、初の洋上産出成功。未来の新エネルギーに期待。

<小林(雅)、小池、井田>

・春本番です。気温の変化が大きい日が続いております。体調を崩さぬようくれぐれもご自愛下さい。

「わかもの視点の復興」

気仙沼仕事創出プロジェクト委員長
東京ローターアクトクラブ

増 田 悠太郎 様

震災後さまざまな支援活動をやってきましたが、1年くらい経過したころに単発的なボランティアももちろん価値がありますが、復興＝雇用の創出だと考え、被災地に雇用を生み出すような支援を継続的に取り組みたいと考えました。

事業者の方とお話をする中で分かるのは、彼らの喫緊の課題はやはり販路の開拓でした。そこで当プロジェクトでも販路の開拓や拡大のサポートを行っています。気仙沼のものを東京圏で売ることができるようアドバイスをしたり、実際に購買に繋がるようなプランを行っています。

気仙沼は決して大きな街ではないが、震災前と震災後で5,000人以上の人口が減少しています。もともと人口流出や少子高齢化という問題があったが、震災前の約1年間の転出超過の8倍のペースで減少しています。

また、気仙沼は水産加工の街と呼ばれるくらい、漁業や水産加工業が盛んな街です。ただ、地元の若い人は現地の産業に就職しようとしません。若い人はどんどん県外に流出してしまっています。

新しい人材が入ってこない産業はいずれ廃れてしまうものです。後継者がいないことってのが、水産加工業の最大かつ本質的な問題だと考えます。

そこで当プロジェクトでは人材育成のプロジェクトを考えています。地元の高校生を対象として、気仙沼の新しい水産加工品を作ろうというプログラムです。グループワークなどを通して商品の企画から、パッケージデザインまで自分たちで作ってみて、ものづくりの楽しさを学びながら、地元の産業に関心も持ってもらうきっかけにしたいと考えています。

これからの復興支援は地域の活性化をするという視点で行っていく必要があります。気仙沼が抱えている問題は、全国の他の地方と同様のものです。誤解を恐れずに言えば、逆に震災はチャンスだと考えます。ここでできた成功例を

全国にシェアすることで、今後日本が活性化していく上での重要なキーになってくるのです。

これからの復興や地域活性化には企業の力が必ず必要になってきます。それはすなわち、本業を通じた社会貢献です。

例えば、企業のマーケティング部長が瓦礫撤去のボランティアをやるのはすごく効率が悪いものです。それならば地元で困っている事業者のところに行き、どうやったらもっと地元の商品が売れるか一緒になって考えてあげる方が効率的であるし、効果的です。

成功している企業が自らの事業ドメインの知識やノウハウをまずは彼らに共有してあげられるかが重要な課題になってきます。これはなにも企業という塊でなくともできることであり、職業人の集まりである、ロータリークラブやローターアクトもこのような形で復興支援に協力できるのです。

被災地全体を支援していこうと思うと、範囲が広すぎて気が遠くなってしまうこともあれば、やる気もなくなってしまうこともあります。

しかし、「気仙沼だけを支援する」や「気仙沼の中の、この地域の、この人たちを支援する」と決めれば支援はしやすくなる。

こういう考え方が今後非常に重要であり、一人でも多くの方がそういう考えを持てば、本当に少しずつではあるけれど東北の復興は進んでいくと思います。

最後になりますが、いつも藤掛さんにはお忙しい中、当プロジェクトのミーティングにお越しいただいて、意見交換をさせていただいています。次年度は会長をされるということで、何かあればぜひローターアクトがクラブ行事などのお手伝いをさせていただきたいと思っています。引き続き東京浅草中央ロータリークラブの皆様にはご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



「買おう！ Made in 気仙沼」プロジェクトのご案内



気仙沼仕事創出プロジェクト委員
東京荒川ローターアクトクラブ会長

杉山 幸平様

気仙沼仕事創出プロジェクトのご紹介に皆様の貴重な例会のお時間を頂戴し、誠にありがとうございました。

「買おう！ Made in 気仙沼」プロジェクトでは、地道に努力されている気仙沼の事業者の応援を通じて、気仙沼に活気を取り戻したいと考えております。

私たちの目指す応援の形は以下の3点です。

- 1) 継続的に応援すること
- 2) 被災地に行かなくても応援できること
- 3) 気仙沼の食材を楽しみながら応援できること

気仙沼は津波被害のガレキがようやく片付いた

ばかりで、まだまだ復興への道のりは遠いです。

復興支援で来る観光客のツアーも激減し、苦しんでいる商店や事業者もたくさんあるそうです。

気仙沼のロータリアンやローターアクターも毎日非常に苦勞されていらっしゃいます。

われわれ東京のローターアクトができる支援は小さな力でしかありませんが、少しずつ規模を大きくしていくことで気仙沼を元気にする起爆剤になればと考えています。

至らない点が多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力のほど、宜しくお願い致します。

気仙沼仕事創出プロジェクト

気仙沼を食べて、知って、応援しよう

買おう！ Made in 気仙沼

Products from Kesennuma

お申し込み締切
2013年
3月31日まで

買おう！ Made in 気仙沼プロジェクトとは

- ① 定期購買で継続的に被災地を応援できる。
- ② 将来の売上を予定できることで、被災事業者の経営を応援できる。
- ③ 遠い被災地へ行かなくても、家にいながら復興を応援できる。

※ 初年度の「買おう！ Made in 気仙沼プロジェクト」は、有限会社カトーの自社開発製品を応援します。

有限会社カトーとは

宮城県気仙沼市の唐桑平島にある水産加工業者です。震災前は水産加工物の下請けをしていましたが、震災で元請の会社が被災したことで仕事量が激減しました。そのため、窮状を打開するために自社製品の開発・販売に乗り出しました。有限会社カトーの自社製品は、東北の豊かな水産物の自然の美味しさを活かし、化学調味料を使わず「安心・安全」を第一に主観目録で開発されています。

気仙沼仕事創出プロジェクトとは

2580地区ローターアクトでは「気仙沼仕事創出プロジェクト」を通じて気仙沼の震災復興支援を行っています。本プロジェクトは気仙沼の事業者のための「販路開拓」と、気仙沼のわかもの「人材育成」を行っています。また、内閣府復興支援型地域社会雇用創出事業「SEEDx 地域米米塾」採択プロジェクトとして、認定をいただきました。

価格(税込み)

+ 20,000円 送料込み

※ うち4,000円は、送料以外の諸経費や「気仙沼仕事創出プロジェクト」の活動費等に充当させていただきますことをご了承ください。

年4回(2013年5月、8月、11月、2014年2月)
下記の商品をご自宅にお届けいたします。

購入者特典

- ◆ 3,000円分の「気仙沼を食す会」割引券(1,000円割引券×3枚)
- ◆ 特製季節のレシピ

5月

串ばっば(2杯)、庄内入りさんまお煎、いかの一本干し、鮎みかめ、鮎むかめ、焼きあじ、寒干しさんま(2匹)、お楽しみのお品

8月

串ばっば(2杯)、ゆず風味付け焼きさんま、いかの一本干し、焼きアナゴ、パリパリせんべい、鮎みかめ、お楽しみのお品

11月

串ばっば(2杯)、寒干しさんま(2匹)、さんまハンバーグ(2個)、鮮まいたこ(計)、鮎みかめ、鮎むかめ、焼きあじ、お楽しみのお品

※ 商品内容は漁獲量などの事情により、予告なく変更する場合がございます。

2月

串ばっば(2杯)、寒干しさんま(2匹)、さんまハンバーグ(2個)、鮮まいたこ(計)、鮎みかめ、鮎むかめ、焼きあじ、お楽しみのお品

お問い合わせ

kohey.sugi@gmail.com
担当: 杉山 幸平(東京荒川ローターアクトクラブ)

お問い合せは上記メールアドレスまでご連絡ください
11時までのお問い合わせを優先いたします。

ご注文方法

FAX 03-6740-1403

ご注文はFAXのみの受け付けになります。印刷済文庫に
お申し込みを記入の上、ご注文ください。

* 国領ローターアクト2580地区ローターアクト